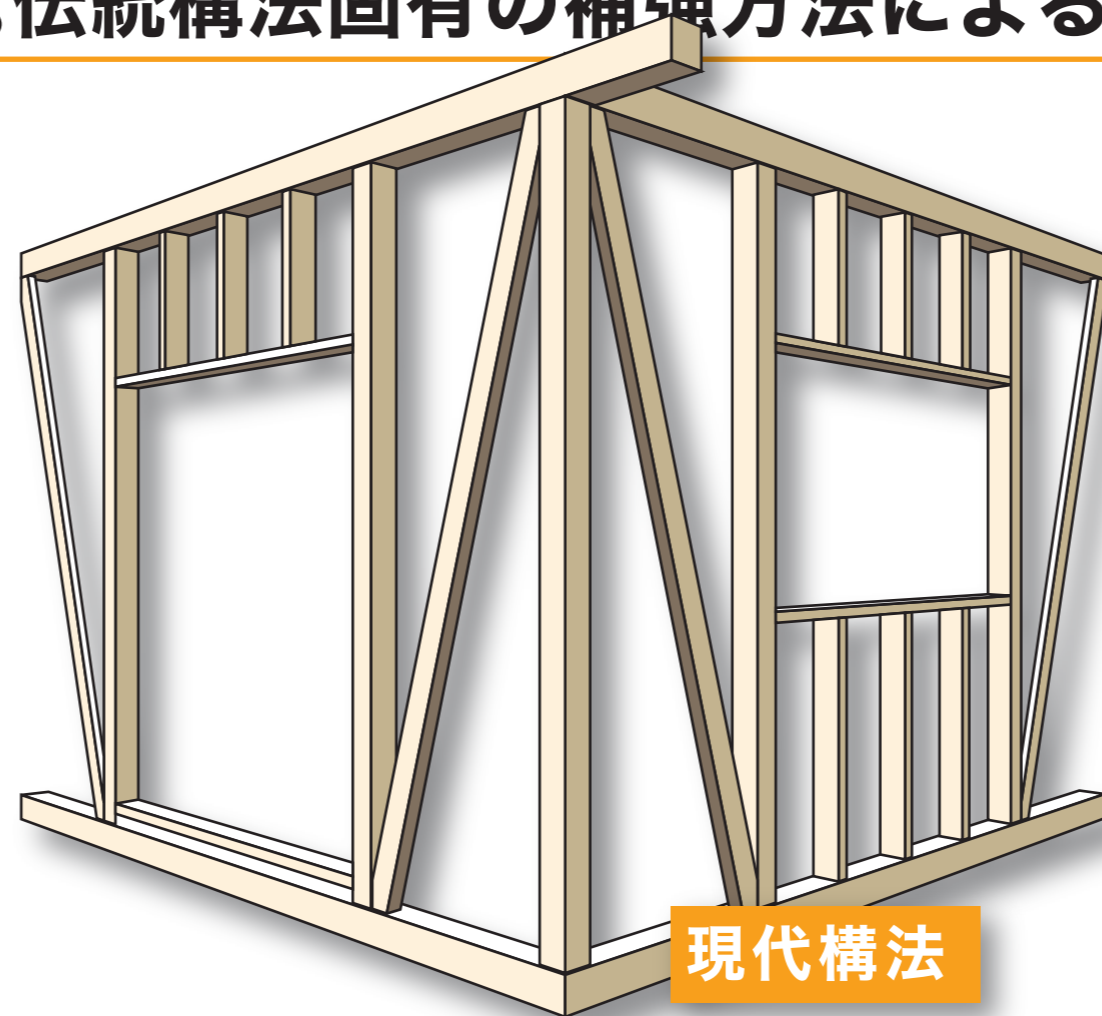


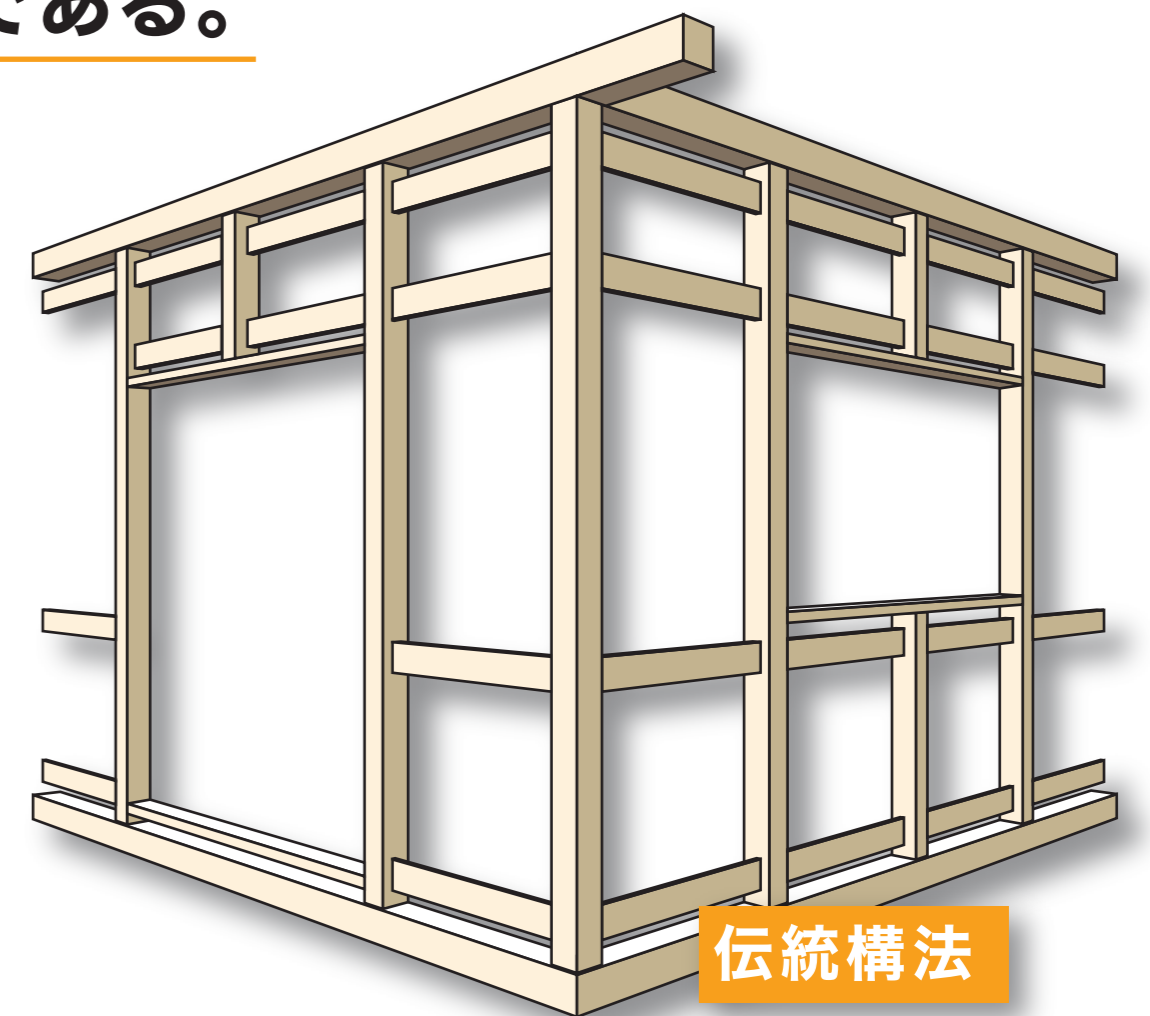
工高生による木造住宅の簡易耐震診断

活動から学習した事

- 伝統構法と現代構法では、構造の組み立ても、地震に備える仕組みも異なる。
- 両構法の耐震診断方法は根本的に異なる。
- 伝統構法の診断法はいまだ未完成である。
- 現行診断法を適用すると、伝統構法では極めて低い性能値になり、伝統構法は危険だという誤った認識を広めてしまう恐れがある。
- 両構法の補強方法は根本的に異なる。伝統構法固有の補強方法によるべきである。



現代構法



伝統構法

これまでの反省と成果

- **診断宅すべてが伝統構法であった**
伝統構法の診断法が確立しておらず、正しく評価できなかった。
- **専門性の深化**
実測技術等の習得。
- **社会とのコミュニケーション**
実社会体験により、社会性や人間的資質の向上。
高校と地域、大学、自治体、建築士会との連携。
- **メディアを通じて社会に発信**
学習活動が社会貢献につながることの自覚。
生徒・教職員・地域住民の防災意識の向上。
- 「まちづくり」の一環として耐震診断の必要性を理解
- 毎日新聞主催「ぼうさい甲子園」奨励賞(高校の部)



上から:「びびっとモーニング」/「読売新聞」2006年6月27日/「京都新聞」2006年6月9日/「中日新聞」2006年6月10日

今後の予定

- **正確な診断方法を模索**
 - 伝統構法で建てられた診断宅を現代構法による一般耐震診断だけでなく限界耐力計算法による診断の試み
- **今後も耐震診断学習を継続**
 - 更に耐震診断学習を続け、生徒の耐震に対する意識、行動力を地域社会に貢献できるように促したい。



生徒の感想

- マンションの耐震強度偽装問題が話題になっていたの耐震調査に興味を持ちました。
- 耐震診断って何? 何のためにするの? 自分や家族の命を救えると考えれば安いものだと思う。
- 耐震診断を少しでも世の中に広めて行くというのがこの活動の目的なのだろうか?
- 協力していただいている河原町の人達のためにも一生懸命頑張っていきたい。
- 地域住民との交流が活動を行う上でとても重要なことだと思う。